

宮城県感染症発生動向調査情報(第38週)

宮城県【平成26年09月25日】発行
 宮城県保健環境センター
 TEL (022)257-7228

— 2014.9.15 ~ 9.21 ・ 第38週 —

上段は患者発生数、下段は定点当り

疾 病	保 健 所							宮 城 県 (含む仙台市)						
	仙南	塩釜	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼	患者数	患者数	累計	第35週	第36週	第37週	第38週
水痘	5 1.00	3 0.30	1 0.20		2 0.67	3 0.60		15 0.58	29 0.50	1,482	レ→	○→	○→	○
流行性耳下腺炎			1 0.20	3 1.50	2 0.67			10 0.38	16 0.28	496	→	→	→	
百日咳											→	→	→	
感染性胃腸炎	10 2.00	10 1.00	9 1.80	6 3.00	12 4.00		1 0.50	62 2.38	110 1.90	14,740	◎→	◎→	◎→	◎
手足口病		2 0.20	3 0.60		1 0.33	1 0.20		20 0.77	27 0.47	288	→	→	→	○
伝染性紅斑	1 0.20	1 0.10	2 0.40		4 1.33	18 3.60		11 0.42	37 0.64	1,964	○→	○→	○→	レ
突発性発しん	2 0.40	7 0.70	11 2.20	1 0.50	2 0.67	8 1.60		15 0.58	46 0.79	1,486	◎→	○→	○→	○
ヘルパンギーナ	3 0.60	41 4.10	16 3.20	3 1.50	10 3.33	22 4.40	13 6.50	52 2.00	160 2.76	2,152	◎→	◎→	◎→	◎
インフルエンザ											→	→	→	
咽頭結膜熱		3 0.30	1 0.20					2 0.08	6 0.10	536	→	→	→	
流行性角結膜炎			1 1.00					2 0.33	3 0.25	122	→	→	→	
急性出血性結膜炎											→	→	→	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	3 0.60	9 0.90	1 0.20		1 0.33	21 4.20		35 1.35	70 1.21	4,381	○→	◎→	◎→	◎
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)											→	→	→	
無菌性髄膜炎											→	→	→	
マイコプラズマ肺炎	1 1.00			1 1.00			6 6.00	3 0.60	11 0.92	327	→	→	→	
クラミア肺炎(オウム病は除く)								1 0.20	1 0.08	2	→	→	→	
RSウイルス感染症						1 0.20		9 0.35	10 0.17	431	→	→	→	
拡 張 疾 病	マイコプラズマ肺炎(小児科)		1	2	3			1	◎：流行の変化について、今後の情報に十分注意 ○：発生または流行について、今後の情報に留意 レ：発生が少なくなっている傾向					
	川崎病							1	【 週報の詳報 】宮城県保健環境センターのホームページ を下記URLよりご覧ください。					
	不明発疹症							4	http://www.ihe.pref.miyagi.jp/~kansen-center/					
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)※								52					

※ 法改正により、平成25年10月14日より、ロタウイルスが原因の感染性胃腸炎について、基幹定点より報告を求めることになりました。

今週の全数報告疾病

- 1類感染症: 報告なし ※男児、女児は6歳未満
- 2類感染症: 結核
仙台管内 女性1名
- 3類感染症: 報告なし
- 4類感染症: デング熱
仙台管内 男性1名(推定感染地域: 国外)
レジオネラ症
塩釜管内 男性1名
- 5類感染症: 侵襲性インフルエンザ菌感染症
塩釜管内 男性1名
梅毒
石巻管内 女性1名

今週のインフルエンザによる入院患者報告(仙台市を含む基幹定点報告) 0例

今週の感染症のコメント — 宮城県感染症対策委員会情報解析部会 —

- 【伝染性紅斑】
登米、石巻管内で警報継続中。
- 【ヘルパンギーナ】
気仙沼管内で警報値を超えた。
塩釜、大崎、登米、石巻管内で警報継続中。

【病原体検出情報】

～宮城県保健環境センター～

ヘルパンギーナ患者より			
岩沼管内	第36週採取分	コクサッキーウイルス(B2型)	1件
		コクサッキーウイルス(A4型)	1件
		コクサッキーウイルス(A10型)	1件
		エンテロウイルス(型不明)	2件

～仙台医療センターウイルスセンター～

	第36週採取分 (9.1～9.7)	第37週採取分 (9.8～9.14)	第38週採取分 (9.15～9.21)
バラインフルエンザウイルス2型	3件	0件	0件
ヒメタヌーモウイルス	1件	0件	0件
RSウイルス	2件	1件	1件

【デング熱について】

厚生省から発表されているデング熱の患者数は、142名です。県内の国内感染例は報告されていませんが、引き続き蚊に刺されないよう注意しましょう。
 デング熱に関する最新の情報は、厚生労働省や感染症研究所のホームページを参考してください。
 ・厚生労働省 デング熱について
http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou19/dengue_fever.html
 ・感染症研究所 デング熱とは
<http://www.nih.go.jp/niid/ja/encyclopedia/392-encyclopedia/238-dengue-info.html>

定点把握の対象となる5類感染症(全国 第36週)

(国立感染症研究所感染症疫学センターホームページより抜粋)

インフルエンザ: 定点当たり報告数は2週連続で増加した。都道府県別の上位3位は沖縄県(1.31)、高知県(0.44)、島根県(0.32)である。基幹定点からのインフルエンザ入院サーベイランスにおける報告数は3例と前週と比較して増加し、3県から報告があった。**RSウイルス感染症:** 報告数は2,156例と第31週以降増加が続いている。年齢別では1歳以下の報告数が全体の約76%を占めている。**咽頭結膜熱:** 定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は群馬県(1.22)、三重県(1.11)、沖縄県(0.94)である。**A群溶血性レンサ球菌咽頭炎:** 定点当たり報告数は3週連続で増加し、過去5年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は島根県(2.04)、北海道(1.64)、長野県(1.61)である。**感染性胃腸炎:** 定点当たり報告数は3週連続で増加し、過去5年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は大分県(9.03)、宮城県(5.90)である。**水痘:** 定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は福井県(1.36)、佐賀県(1.22)、福岡県(1.07)である。手足口病の定点当たり報告数は3週連続で増加した。都道府県別の上位3位は石川県(6.62)、佐賀県(3.35)、山口県(2.72)である。**百日咳:** 定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は鳥取県(0.11)、沖縄県(0.09)、山形県(0.07)である。**ヘルパンギーナ:** 定点当たり報告数は減少したが、過去5年間の同時期と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は新潟県(7.44)、福島県(7.07)、宮城県(6.14)である。**マイコプラズマ肺炎:** 定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は富山県(1.20)、高知県(0.88)、長野県(0.73)である。**感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る):** 定点当たり報告数は横ばいであった。3県から5例報告があり、年齢別では1～4歳(4例)、20代(1例)であった。

* 全国の指定された医療機関(小児科定点(約3,000カ所)、インフルエンザ(小児科・内科)定点(約5,000カ所)、眼科定点(約600カ所)、基幹定点(約500カ所)の集計結果です。()内数字: 定点当たり報告数